

令和8年度 練馬区立八坂小学校の教育

校長 彌永 英俊

◆教育目標

よく考える子 (重点目標)	心ゆたかな子	たくましい子
学習に主体的に取り組み、よく考え解決しようとする子供を育てる	豊かな情操をそなえ、自他の人格を尊重し、助け合って生活できる子供を育てる	進んで運動に親しみ、心身を鍛え、健康な体づくりに努力する子供を育てる

◆教育目標を達成するための基本方針

- (1) 自他の生命を尊重し、子供や保護者、教職員にとって安全で安心のできる学校を目指します。
- (2) 児童理解に努め、一人一人がもつ「よさ」を認め伸ばす指導を行っていきます。
- (3) 基礎・基本の定着を図るとともに、「分かる、楽しい授業」を展開し、確かな学力の育成に努めます。
- (4) 生活科・総合的な学習の時間を中心に研究を深めていきます。また、「課題を見付ける」「自分の考えを深める」「分かったことを表現する」活動を通して探究的な学習を充実させます。
- (5) 豊かな関わり合いを通して、他者を思いやり尊重する心を育てます。
- (6) 体力の向上を推進し、心身ともに健康な子供の育成に努めます。
- (7) 家庭や地域との連携を密にしながら、地域や保護者に信頼される学校を目指します。
- (8) 教育公務員としての自覚をもちサービスを遵守するとともに、自己研鑽に励み、資質、能力を高めていこうとする教職員集団を目指します。

◆目指す学校像

笑顔 かがやく 八坂小 みんなで 育てる 八坂小

1 安全で安心して通える学校

- ・ 明るい挨拶、やさしい言葉、前向きな言葉があふれる学校
- ・ 基本的な生活習慣を身に付けさせ、健康教育や食育の推進を図る。
- ・ 学校のきまりはお互いが気持ちよく過ごすためのものであることを理解させ、すすんで守ろうとする態度を育てるとともに、家庭との連携を図る。

3 一人一人を大切に、全児童を全教職員で育てる学校

- ・ 子供の声をしっかりと受け止め、一人一人を大切に学級・学年・学校環境を築く。
- ・ 交換授業、異学年交流活動、委員会活動、クラブ活動など、多くの目で子供たちを見守り、育てる。
- ・ 報告、連絡、相談を徹底し、迅速かつ組織的な対応ができる。一人では抱え込まない・抱え込ませない

2 明日も通いたくなる楽しい学校

- ・ 学びの楽しさ: 「なぜ」「どうして」という子供の疑問を大切に、「できた」「わかった」という主体的な学びの楽しさを味わえる。
- ・ かかわりの楽しさ: 学校は様々なものや人と出会う場所であり、かかわり(実体験)を通して「気付き」や「感動」に出会い、友達や先生とのかかわりの中で学ぶ楽しさを味わえる。
- ・ 夢中になる楽しさ: 日常的に目標を意識させ、目標に向かって夢中になって取り組む楽しさとともに達成感や成就感を味わえる。

4 保護者・地域のみなさんから信頼される学校

- ・ 授業、行事等の公開を通して子供の姿で学校の頑張りを伝える。
- ・ 丁寧な情報発信に努め、教育活動を可視化することで、学校の教育活動を理解していただき、保護者・地域の皆さんと共に子供を育てる。

東京都教育委員会 教育目標

- 互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間
- 社会の一員として、社会に貢献しようとする人間
- 自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間

1 各教科/道徳

- ◇ねらいの明確化と大切に振り返り
- ◇特別の教科「道徳」自分事として考える
- ◇児童生徒用タブレット端末を活用した学び合いの工夫 (ICT 機器活用)
- ◇算数少人数習熟度別学習
- ◇「すくすくタイム」で基礎学力向上
- ◇理科教育の充実 (5・6年)
- ◇外国語活動の充実 (3～6年)
- ◇体力の向上 体育科の授業改善
- ◇発表 (生活総合・各教科・音楽・図工等)

2 人権教育・健全育成

- ◇一人一人を大切にする
- ◇全職員で全児童を育てる
- ◇あいさつを励行し、言語環境を整える
- ◇特別支援教育コーディネーター5名体制
- ◇SC・学校生活支援員・心のふれあい相談員・巡回心理士との連携
- ◇いじめ・不登校への組織的対応
- ◇毎月の「学校生活アンケート」
- ◇早寝・早起き・朝ごはんの生活習慣

6 特別支援教育

- ◇子供の成長を共感的に支援
- ◇特別支援教室「わかたけルーム」の活用
- ◇学校全体での組織的な対応
- ◇校内委員会の開催 (毎月開催)
- ◇特別支援教育コーディネーター・スクールカウンセラー・心のふれあい相談員との連携した児童支援
- ◇ユニバーサルデザイン教育の推進

7 保護者・地域 連携

- ◇学校連絡メール(sigfy) の活用
- ◇家庭学習充実に向けた家庭との連携
- ◇地域人材の積極的な活用
- ◇学校支援コーディネーターとの連携
- ◇地域を生かした学習カリキュラム実施
- ◇地域未来塾の推進

練馬区教育委員会 目標と取組の視点

- 「夢や目標を持ち困難を乗り越える力を備えた子供たちの育成」
- 視点1 教育の質の向上
 - 視点2 家庭や地域と連携した教育の推進
 - 視点3 支援が必要な子供たちへの取り組みの充実

3 特色ある教育活動

- ◇生活科・総合的な学習の時間の充実
- ・身近にある地域の「人、もの、こと」を活用した体験的な学び
- ・探究的な学びのプロセスを充実させ、主体的・対話的で深い学びを実現する
- ◇農業従事者と連携した体験学習
- ◇安全教育
- ・警察と連携した交通安全指導
- ・保護者・地域と連携した防災訓練(10月)
- ◇学校図書館の活用
- ・区立稲荷山図書館・学校司書との連携
- ・読書旬間の充実 (読み聞かせ・ねりま電子図書館・児童による読書啓発活動)

4 特別活動

- ◇学校行事・学級活動を通じた所属感・自己有用感の醸成 (目標・役割の明確化)
- ◇異学年交流活動の充実
- ・スマイルタイム、児童集会の実施
- ◇体育的行事の充実
- ・スポーツ・フェスタ、ペース走旬間等 (体力の向上・健康の保持増進)
- ◇文化的行事の充実
- ・八坂フェスティバル、学習発表会、音楽朝会
- ◇児童主体の委員会・クラブ活動
- ◇学級会などの話し合い活動の充実

5 小中一貫・幼保小連携

- ◇9年間を見通した指導の充実
- ◇校区別協議会を通じた指導法改善
- ◇出前授業・リトルティチャー・部活動体験
- ◇児童、生徒会による合同あいさつ運動
- ◇幼保小交流とスタートカリキュラムによる円滑な接続

8 働き方改革

- ◇生体認証による在校時間管理
- ◇週時程や行事等の見直しによる業務充実
- ◇校務のデジタル化、データの管理・共有
- ◇一人一人のライフスタイルに合った働き方ができる職場風土の醸成